



- P1 ■彩の国コミュニティ協議会  
会長就任のごあいさつ
- P2 ■事業報告  
(シラコバト賞表彰式、  
共助事例発表会)
- P3 ■市町村コミュニティ協議会の  
活動紹介(熊谷市、和光市、小川町)  
共助仕掛人の紹介
- P4 ■会員紹介  
埼玉縣信用金庫  
埼玉県身体障害者福祉協会  
埼玉県レクリエーション協会



## ごあいさつ

彩の国コミュニティ協議会会長  
埼玉県知事 大野 元裕

このたび、皆様方の御信任をいただき、彩の国コミュニティ協議会会長を務めさせていただくことになりました。埼玉県知事の大野元裕です。

役員の方々をはじめ会員の皆様方には、本県の発展のため格別の御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

彩の国コミュニティ協議会は昭和54年6月に設立されて以来、住民・企業・行政の連携と協働による地域社会の形成に向けて、『広げようコミュニティの輪』のスローガンのもと、コミュニティ活動を活性化するための様々な活動を展開してきました。そして、現在では県内全市町村において、それぞれの特色を生かした活動が展開されています。

これもひとえに、地域で地道な活動に日々取り組んでおられる皆様方の御尽力によるものです。深く感謝申し上げます。

人口増加を続けてきた埼玉県も、間もなく人口減少社会へ突入します。核家族化や単身世帯の増加、ライフスタイルや価値観の多様化など、地域を巡る環境が大きく変化しており、地域コミュニティの希薄化が大きな課題となっています。

地域が抱える課題は防犯や防災、環境美化、子育て支援など県民生活のあらゆる分野に及んでおり、住みよい地域社会を築くために、地域コミュニティの果たす役割はますます重要となっています。

こうした中、当協議会では、防犯活動や清掃運動、子供の見守り活動といった地域活動や、地域のお祭り、イベントなどの促進に力を入れております。今後とも地域で健康づくりや心のふれあいを深め、誰もが生き生きと暮らすことができる住みよい地域社会を築いていけるように、活動を続けていきたいと思っております。

また、県民一人一人が地域活動の担い手として活躍できる社会を創っていくことも急務となっています。折しも今年は東京2020大会が開催され、地域コミュニティ活動の促進を図る絶好の機会です。埼玉県では、昨年のラグビーワールドカップの成果をしっかりと受け継ぎ、県民総参加の「ワンチーム埼玉」でおもてなしを行う準備を進めています。5,400人の都市ボランティアをはじめ、「埼玉県版ホームステイ」によるゲストの受入れ、環境美化活動やアスリートの応援などを通じ、「埼玉県の神対応」を目指してまいります。

大会を成功につなげ、彩の国コミュニティ協議会を中心に、企業、団体、市町村等との連携を図り、地域コミュニティを活性化するための活動をより一層推進していきたいと思っております。

会員をはじめ県民の皆様方には、引き続きの御支援と御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

# 令和元年度 県民の日記念式典

去る11月14日(木)、埼玉会館(さいたま市)にて「令和元年度 県民の日記念式典」が開催されました。知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰のほか、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 大野元裕 埼玉県知事から賞状、副賞の楯が授与されました。

## 第51回 シラコバト賞

今年度は141の個人、59の団体が受賞されました。受賞者を代表して4名の方に登壇していただきましたので御紹介します。



### 受賞者・団体の紹介

#### 心のふれあいを深める活動

さか どけいちよう

#### 坂戸傾聴ボランティア「ダンボ」(坂戸市)

高齢者施設等を訪問し利用者の気持ちに寄り添い話を聴くほか、市民に傾聴活動を広め、より良い人間関係を築けるよう活動しています。



#### 住みよいふるさつをつくる活動

たなか

みつお

#### 田中 満男 氏(志木市)

交通安全の啓発を基本とする安全・安心な地域づくりのため、各交通関係団体と連携し交通安全活動を行っています。



#### 郷土を知り、郷土を想う活動

かすかべし しょうわ おおだこ ぶんか ほぞんかい

#### 春日部市「庄和大風文化保存会」(春日部市)

大風揚げの技術の保存と継承に努めており、「春日部市大風あげ祭り」での大風揚げのほか、学校などで風づくり教室を行っています。



#### 健やかな心身を育てる活動

つかごし

えいこ

#### 塚越 栄子 氏(深谷市)

料理教室や成人病予防、減塩方法等の教室を開催する中で、食・健康づくりの大切さを伝達しています。



# 令和元年度 共助事例発表会

## 「市民参加型のコミュニティづくり」

特定非営利活動法人 ハンズオン!埼玉 常務理事 西川 正 氏

特定非営利活動法人ハンズオン埼玉は、一人ひとりの市民が、自分のまちの地域づくりに、当事者になっていくためのさまざまな調査研究や提案をする組織として2005年に設立されました。以来、「おとうさんのヤキイモタイム」(父親の地元の友だちづくりのためのヤキイモ大会を支援するキャンペーン。毎年県内各地10ヶ所で開催)や、「大人としゃべり場」(中学校等で大人と子供が1対1対でおしゃべりを楽しむワークショップ)の開催支援など、地域づくりのための様々な活動を提案、展開しています。

地域の活動は、近年強く「負担だ」という声が聞こえてくるようになりました。その背景には、前年どおり、会長の言うとおりになど、工夫の余地がなく言われたとおりにやるしかない、ということなどもあるようです。地域の活動はやらなければいけないことも多く、しかたのない面もありますが、一方で、まったく工夫の余地もなく、指示されたことをやるだけでは、達成感を感じにくく、負担感だけが残る、ということにもなるようです。

長い人と新しい人できちんと相談をして小さなことでもいいので少しでも変えていく、自分たちなりのやり方を工夫すると、そこにおもしろさ(達成感)が生まれてくるようです。ぜひ若い人や新しい人と一緒に、作り変えてみてはいかがでしょうか。自分で工夫したという実感がもてると、そのまちは「私のコミュニティ」になっていきます。







## 市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して助成をしています。今年度の助成事業について、一部御紹介します。

### 「530運動」(熊谷市コミュニティづくり市民協議会)

熊谷市コミュニティづくり市民協議会では、春と秋の年二回、熊谷市内の清掃活動として「530運動」を実施しています。活動の趣旨は「ゴミを拾うことよりも捨てない心を養うこと」であり、長年にわたり、市内の環境美化に大きく貢献しています。

令和元年度は、春に27,660人、秋に24,232人と多くの方々に参加していただき、熊谷市が美しく保たれているとともに、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。

今後も当協議会の活動指針である住みよい地域社会の実現のため、ラグビータウン熊谷として『ONE TEAM』となって、この運動を継続して進めていきます。



### 「白子宿つるし雛教室」(和光市コミュニティ協議会)

和光市コミュニティ協議会では、市内の子どもたちの成長を願い、平成25年から毎年「白子宿つるし雛」の作成をしています。コミ協委員の他、募集記事を見て応募した一般の方が集まり、市内在住の講師のもと教室が開催され、楽しく雛を作っています。出来上がったつるし雛は市内公共施設で飾ります。

和光市には明治時代、豊富な湧水を利用した官営初の養魚場があったことから、「白子宿つるし雛」には魚をモチーフにした雛もあるのが特徴です。

あたたかいお茶を飲みながらの作業はおしゃべりにも花が咲き、年々コミュニティの輪が広がっています。



### 「花いっぱい運動」(小川町コミュニティ協議会)

小川町コミュニティ協議会では、今年で34回目となる「花いっぱい運動」を開催しました。当日は秋空のもと、35行政区、1,420名が参加し、おしゃべりを楽しみながら、地域の花壇を黄色や紫の色鮮やかなパンジーで飾り付けました。

花いっぱい運動を開催することは、環境美化だけでなく、地域間でのつながりや交流を深め、コミュニティ形成のきっかけ作りにも大いに役立っています。

今後も地域の皆さんの笑顔と安心のために、共助や思いやりの心を広め、優しさに溢れた地域づくりを進めていきます。



## NPO×人材×資金をつなぐ「共助仕掛人」を紹介します!!

### 共助仕掛人とは

NPO等の相談を受けて最も適した人材や資金等をマッチングするコーディネーターです。

埼玉県では、趣味や仕事で培ったスキルを生かして、市民活動団体やNPOなどを支援いただく専門家ボランティア登録制度を設けており、一定の要件を満たした方を専門家ボランティア共助仕掛人(市民活動コーディネーター)として登録しています。埼玉県内で現在29名の方が活動されています。



### 詳しくはポータルサイトをチェック!

埼玉県共助の総合ポータルサイト「埼玉共助スタイル」で共助仕掛人やマッチング事例を紹介しています。

共助仕掛人の紹介

検索

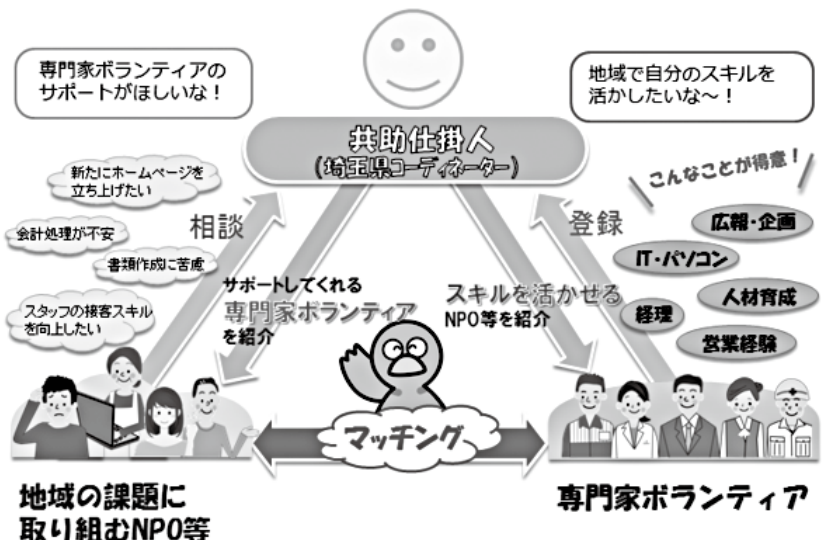


お問い合わせ先  彩の国 埼玉県

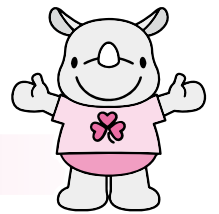
埼玉県県民生活部  
共助社会づくり課

電話 048-830-2828  
E-mail a2835-07@pref.saitama.lg.jp

コバトン&さいたまっす







### 埼玉県信用金庫

埼玉県信用金庫は「聞き上手!」をキーワードにお客さまのさまざまなお声に耳を傾け、健全経営のもと良質な金融サービスを提供し、地域の皆さまからの信頼に応え続けております。

2年に1度さいたまスーパーアリーナにて開催している「さいしんビジネスフェア」は2019年に3回目の開催を迎えました。お取引先企業の販路拡大・ビジネスマッチング・地域活性化を目的とし、埼玉県内外より出展者が集い、毎回多くの来場者で賑わいます。

また、一般社団法人さいしんコラボ産学官とともに毎年アイデア発表会を開催しています。県内の大学・専門学校の学生が、大手企業の保有する開放特許を活用した商品アイデアを創出・発表し、優秀なアイデアは事業化のチャンスもあります。

その他にも、スポーツ振興や青少年育成支援、金融教育の機会の提供、環境保護など、地元中小企業・埼玉県の発展に貢献できるように、さまざまな取組みを行っています。



さいしんビジネスフェア2019



開発特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉

### 社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会

埼玉県身体障害者福祉協会は、昭和27年に県内各地の身障者福祉会の連合体として「埼玉県身体障害者福祉会連合会」が結成されたのが母体となって以来、行政及び各郡市町村の福祉会が一体となって、身体障害者の自立と福祉向上のための組織活動を展開してきました。

昭和40年には、社会福祉法人の認可を受け、「埼玉県身体障害者福祉協会」として発足、同時に「身体障がい者共同作業所」を設置し、障害者の社会的自立を促進するなど、身体障害者の福祉充実と社会参加促進のため、各種事業に取り組んでいます。

また、当協会が埼玉県美術教育連盟と共催している、県下の公立小中学校・特別支援学校生徒の作品を対象とした美術展覧会は、昭和34年に開催されて以来、令和元年度で61回を数え、県内の障害者や地域との関わり合いを広める役割を果たしています。



HP QRコード



身体障害者相談員研修会



身体障害者福祉のための埼玉県児童生徒美術展覧会

### 特定非営利活動法人 埼玉県レクリエーション協会

当協会は、昭和37年6月に設立され、平成27年4月に法人格を取得し、特定非営利活動法人として活動しています。協会には、市町39団体、種目27団体の66団体が加盟しています。本県のスポーツ・レクリエーションの普及振興、関係団体相互の連絡調整を図り、県民の心身の健康増進及び福祉の向上と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的に活動しています。

県民総合スポーツ大会や県レクリエーション大会などの開催によるレクリエーションの普及事業、レクリエーションインストラクター養成講習会、高齢者レクワーカー養成セミナーなどの開催による人材養成、資格審査事業、レクリエーションに係る指導者等の派遣や組織の育成・強化事業など、レクリエーションに係る事業を幅広く展開しています。今後もスポーツ・レクリエーションをとらえて、健康や安心、居場所や活躍の場づくりに取り組むとともに、県民が豊かで充実した人生100時代を過ごしていくための様々な事業を提案してまいります。



スポーツフェスティバル



埼玉県レクリエーション大会 in かわぐち